



平成22年度入学生 おめでとう

平成22年度の入学式が4月1日、本校体育館で行われ新入生319人（情報文化学科136人、情報システム学科181人、編入学生2人）が新たな夢を描きながら、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

青春の情熱を傾注し 限りなく学べ、楽しめ

緊張の面持ちの新入生に、平山征夫学長は式辞で「限りなく学んで自己の専門を見出しどほしい。青春の情熱を傾注し夢に向かって努力し、豊かで楽しい学生生活を謳歌してください」と激励しました。

引き続き関根秀樹新理事長が「意識を持つて学び、人間性豊かで温かい心を持つた社会人に成長することを期待しています」と祝辞を贈りました。

在学生を代表して情報文化学科3年生の五十嵐聰さんは「勇気を出して一步を踏み出そう。多くの出会いの輪を広げ新しい自分を発見しよう。一緒に

なつて有意義な楽しい学園生活を送りましよう」と歓迎の言葉を述べました。

これに対し、新入生を代表して情報システム学科の武田学さんが「一つ一つの情報をしっかりと判断できる基礎知識、分析力や応用力を身につけるため何事も真剣に学び続け、自己を成長させたいと思います」と力強く決意と抱負を披露しました。

式典では派遣留学・海外夏期セミナー提携校の極東国立総合大学（ロシア）、北京師範大学（中国）、慶熙大学（韓国）、ノースウェスト・ミズーリ州立大学（アメリカ）、アルバータ州立大学（カナダ）の各大学からの祝福ビデオメッセージも映し出され、新入生との交流を呼びかけました。

春雨も上がった式典後には、新入生たちは多くのサークルの歓迎と勧誘の輪の中を通りながら校舎に入り、期待に胸を膨らませながら早速ガイダンスに臨みました。



CONTENTS

(2・3面)

入学式特集

学長式辞 理事長祝辞
新入生代表・私の抱負
在学生代表・歓迎の言葉

(4・5面)

大きな夢を抱いて（新入生の決意）
地域の活性化に貢献（在学生の活躍）
新任学部長・両学科長あいさつ
新任教員紹介3人

(6・7面)

派遣留学・夏期セミナー帰国報告会

平成21年度主な就職先一覧

オープンキャンパス案内
48人に資格取得奨学金を授与
「家族の肖像」をテーマに公開講座
9月から全キャンパス全面禁煙

(8面)

最終講義と3退任教員あいさつ

事務局異動（退職） 湧源

(9面～12面)

平成21年度卒業式特集
卒業生思い出ひとこと
JABEE認定13人に修了証書
特別表彰
式典・祝賀会スナップ

入学式

学長式辞



新潟国際情報大学
長 平山 征夫

力してください。

入学に当たって学長として皆さんに本学での大学生活に期待すること、心がけてもらいたいことなど申し上げたいと思います。

自己管理をしつかり

夢に向かって努力を

新入生の皆さん、入学おめでとう。本学教職員はじめ関係者を代表して心よりお祝い申しあげますとともに歓迎申し上げます。

皆さんは今、入学式に臨み新たな大学生活への少しの不安はあるでしょうが、その何倍もの大きな希望に満たされていることでしょう。同席されているご父母の皆さまのお喜びもいかばかりかと推察いたします。

平成6年に開学しました本学は、今回で17回目の入学式を迎えたまだ若い大学ですが、諸先輩の努力で少しづつ伝統を築いてまいりました。今春の入学式を前にした新入生を迎え、さらなる次の一步を踏み出せることを喜んでおります。

本年入学された皆さんには、情報文化学科136名、情報システム学科181名、および編入学生2名、合わせて319名です。本学の建学の理念と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人

職員一同、皆さんのが有意義な大学生活を送ることができます。よろしくおねがいします。また、皆さんも先輩たちが築いた伝統を引き継ぎ、さらにこれを発展させると同時に、それぞれが大学での勉学と人間形成という目的を達成すべく努

たり、勉強以外の目的ができたり、きっと大學生が豊かで楽しいものになるでしょう。そして幅広い活動が人間形成に大いに役立つでしょう。「進路を見直したい」といった理由で休学・退学残念ながら毎年せっかく本学に入学したのに

するケースが生じています。もちろん、近年は経済的事情でやむなく退学される方もいますが、極めて残念なことです。せっかく自己を磨くチャンスを手にしながら、「自分のやりたいことが見出せない」「勉強意欲を失った」などといった理由で退学していきます。そうした思いを抱いた場合は、結論を出す前に私や担当の先生にぜひ相談してください。多くの場合、自由ゆえに自分のすべきことが定められず、大学生活に対応しきれず、勉強する習慣が身に付かず、授業に次第に出席しないなり、興味をなくしてゆくケースが多いようです。今日同席されておられる父母の方々にもお願いします。大学としましては、皆さんと緊密な連絡を取り、こうした事態が極力発生しないようにしてゆきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

私としては、一人でもこうした途中退学する学生を出さないようにしたいと強く願っているからです。大学に入学後同じような悩み、問題意識を持つたけれど、退学せず何とか在学し続けた人が、中年になって振り返って「あの時退学しなくて本当に良かった。あまり勉強はしなかったけれど、大学生生活を全うしたことが自分の中で何らかの力になっている」と話しているケースをいくつも見てきたからです。

先般卒業していった卒業生は、厳しい雇用情勢によります。授業に出るか、クラブ活動に参加するか、アルバイトするなど、毎日の生活は自分で決めるになります。ややもすると安きに流れます。どうか学生生活を計画を立て規律をもつて自己管理してください。自由さが生活の規律を失わせてしまいかねません。大学生生活は自己責任であること、自由が堕落をもたらす危険があることをしつかり自覚してください。授業やゼミ、演習などに積極的に参加するとともに、クラブ活動にも青春の情熱を傾注してください。友人が増え

のなかで未就職のままという人もかつてなく多くいました。残念なことです。大学としましては、こうした厳しい雇用情勢は続くと判断して就職体制を強化してゆきます。同時に皆さんには、大学で学びながら将来生かす道を早く見出しで、職業意識も持つてほしいと思います。

一昨年のリーマン問題をきっかけにしたバブル経済の崩壊は、利益優先の市場主義社会の問題を表面化させましたが、欲望を追い求める人間の心は簡単には変わらないでしょう。その意味では皆さんこのこれから的人生は、競争型の必ずしも生きやすい時代ではないかもしれません。そうした時代を生き抜くためにも学び、考える力を身に付けることが大切になっています。同時にそうした時代であるからこそ、余計皆さんには現実を見据えると同時に若者らしい「夢」を持って、それに向かって努力する人生を送つてほしいのです。その出発をこの大学生活のスタートから始めましょう。「夢」は人の心を豊かにしてくれます。

何よりそれを追いかける時、人は元気で優しい気持ちになります。「夢」は皆さんに豊かな人間性を育んでくれるでしょう。

弥彦を望む越後平野の真っただ中にあるこのキヤンバスは、皆さんのが「夢」を実現するスタートの場です。自然に抱かれて、自然に生かされてもらっていることを感じながら、友人と楽しく、有意義な大学生生活をスタートしてください。

皆さんのが、勉強にいそしみ学生生活を謳歌しながら成長される姿を見るなどを、何よりの楽しみとし期待して、皆さんへの歓迎の言葉といたします。

祝辞



学校法人 新潟平成学院
理事長 関根 秀樹

意識を持つて学び 人間性豊かな社会人に

新入生の皆さん、入学誠におめでとうございます。

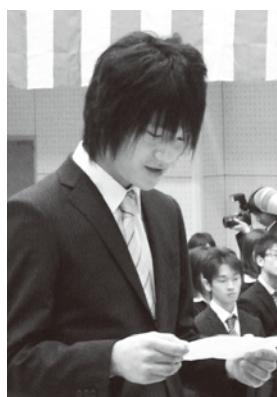
元気溢れとした前途有為な新しい諸君319名をお迎えし、本日入学式が行われますことを心から嬉しく存じます。これは、多年にわたる皆さんのが努力の賜であり敬意を表したいと思います。

にあつて、その成長を楽しみにしてこられたご臨席のご父母の皆さまに、新潟国際情報大学の設置母体であります、学校法人新潟平成学院の役員をはじめ、全教職員を代表して心からのお祝いを申し上げます。

実は、こう申す私も、本日來賓としてご臨席いただいております武藤輝一前理事長を引き継ぎ、4月1日より新しく理事長に就任したばかりであります。

神と教育理念であります。本学は、新潟市出身の元衆議院議員小沢辰男氏が代表者となり、新潟市をはじめ新潟県、近隣市町村、民間企業のご支援のもと、21世紀の「国際化、情報化」社会に対応し、国際的な視野を持ち、グローバルな情報を体系的に処理する能力を備えた人材を、この新潟の地で育成し、地域社会の発展に役立つと同時に地域文化の創造に寄与、そして人類の福祉の増進に貢献することを目的として平成6年に開学いたしました。

私の抱負



新入生代表 情報システム学科
武田 学

何事にも真剣に取り組み

本日は、私たち新入生のために、このようないい入学式を挙行していただき、そして、激励の言葉をいただきありがとうございました。

現在、私たちを取り巻く情報通信の分野は目覚しい発展を続け、私たちの生活と切り離すことができなくなっています。情報化社会はますますグローバル化が進み、地域や国を越えた情報のやり

いよいよ大学での生活が始まるという今日、期待と不安が入り混じっていますが、これから約4年間を大切にし、授業はもちろんのこと、人間関係を大切にして、何事にも積極的に取り組み、社会の一員としての知識を身に付け、自己を成長させたいと思います。

最後に、経験豊かな先生方からご指導をいただき、常に真剣に学び続けることをお誓いし、入学の抱負とさせていただきます。

**勇気を出して一步を
新しい自分を発見しよう**



在学生代表 情報文化学科3年
五十嵐 聰

歓迎の言葉

創設17年目を迎えた今日、私立大学を取り巻く環境は、少子化という大変厳しい状況下にあります。ですが「優れた、質の高い教育」を目指し、「地域社会の知的中核として、社会の活性化に貢献する」責務を負っていると考えています。学校法人としてその責任の重大さを認識し、健全なる経営に最大限努めてまいります。

今の時代、価値観が多様化し、技術は日進月歩し、情報はあふれ、そのうえ経済不況、雇用不安等々、いったい先がどうなるかわからない視界ゼロの時代に遭遇しています。そのときに、皆さんにぜひとも望むことは、「意識をもつて学ぶ」ということです。4年後には卒業して社会に出て、働くことになります。自分が関心の持てる分野の仕事に就くのがいちばん良く、また達成感があるはずです。そのためには「自分は将来何になりたいか、どういう仕事を適しているか」を、入学時から十分考えておくべきです。

もちろん仕事は、生活の糧を得る手段ですが、一方では、仕事をした何かを成し遂げたという満

足感や、社会のために役立つたという達成感が生まれ、「自ら考え、創造する力、物事の本質を見極める力」をいかに付けることができるかが大切になるわけあります。自分が考え、行動するということは「責任」を伴います。その結果については自ら責任を負わなければなりません。失敗を社会のせいにしたり、他人のせいにすることによって自らの責任から逃れることはできないのです。このことは、他の人を思いやる優しい気持ち、他者を尊重するということになり、社会ルールを守るということになるのです。

皆さんが学生生活の中で良き師と出会い、先と長い人生の交流を持ち、将来と共に語り合いか歩むことのできる友人を得ることが後の人生を大きくするものであります。この複雑な、流動的、不透明な時代であります、皆さんが充実した人生生活を送られ、人間性豊かな温かい心を持つ、社会人に成長されることを祈念して、お祝いの葉といたします。

院選挙や地方選挙を通して、政治に無関心にならず、興味・関心を持って視野を広げていくべきではないでしょうか。

高校までの生徒とは違い、皆さんは今日から学生となります。ぜひ、有意義な学生生活を送ってください。学生とは、自ら学び、行動して学問・研究を深めていく人のことです。皆さんのその胸に秘めている気持ちは、自身の行動によつて、実現の可否が左右されます。サークル活動に参加する。海外提携大学へ留学をしてみる。ボランティア活動をする。本学はその道標として、自分の行動によつては、友人、先輩、教職員の方々が手を貸してくれます。それを受け、充実したキャンパスライフを送る先輩方はたくさんいます。受動的な姿勢では、何も得ることはできないと考えた方がいいでしよう。皆さんはまだ、不安や緊張に戸惑っているかもしれません。

しかし、勇気を出して一步を踏み出すことで、大学生活は大きく変わります。その小さな一步は、将来的に大きな成果となり、すべては自分自身の糧になつていくことでしょう。社会人への一歩を大学生活の中で見出すことで、世の中における自分を発見できると思います。

高校までの生徒とは違い、皆さんは今日から学生となります。ぜひ、有意義な学生生活を送ってください。学生とは、自ら学び、行動して学問・研究を深めていく人のことです。皆さんのその胸に秘めている気持ちは、自身の行動によつて、実現の可否が左右されます。サークル活動に参加する。海外提携大学へ留学をしてみる。ボランティア活動をする。本学はその道標として、自分の行動によつては、友人、先輩、教職員の方々が手を貸してくれます。それを受け、充実したキャンパスライフを送る先輩方はたくさんいます。受動的な姿勢では、何も得ることはできないと考えた方がいいでしよう。皆さんはまだ、不安や緊張に戸惑っているかもしれません。

しかし、勇気を出して一步を踏み出すことで、大学生活は大きく変わります。その小さな一步は、将来的に大きな成果となり、すべては自分自身の糧になつていくことでしょう。社会人への一歩を大学生活の中で見出すことで、世の中における自分を発見できると思います。

祝
電

新潟県知事
新潟市長

泉田 裕彦

日本私立大学協会長
(株)フクレート代表

大沼

3

つことが大切です。大学は、基本的に自由な場所です。自由という言葉は、一見すごく自分にとって有利かのように感じます。しかし、目標を持たない人は自分の可能な行動がどこからどこまでなのが分からなくなってしまい、選択肢の幅が狭くなってしまいます。

まいがちです。目標を有する人は、自由になつたとき目標に向かうために選択肢をつくる自ら行動します。自らが積極的に行動すること、すなわち、人の出会いが選択肢を増やすことにつながると、私は考えます。例えば、サークルに入つて、友人をつくりたり、先輩と知り会つたり、教職員の方々とかわりを持ち、人ととの輪を広げていくことに

よつて、さまざまな人からの影響を受け、新しい自分が見つかるかもしれません。その可能性をつくり出すのは自分次第です。4年間という長いようで短い目標が幾つかあります。

これから皆さんには、たくさんの出会いが待ち受けています。「我を非として当う者は吾が師なり」という諺にもあるとおり、自分の欠点を注意していく人は誰でも自分で導いてくれる先生だということがあります。今までに会つたことのない人との出会いに送ることを楽しみにしています。

最後になりましたが、皆さんの本学へのご入学を開設5周年を祈念した「まちなかフェスティン ROSA」が2月6日、西堀ローサで開催され、イベントの一つ「市民によるまちなか再生井戸端会議」に情報文化学科の茅原嵩生さんと斎藤雄介さん、情報システム学科の片岡憲一さんと渡辺貴人さんが参加しました。

4学生は参加者の親睦を深めるゲームで、街と市民とのかかわり

の「気付き」で会議を有意義に進行させました。また西堀ローサを訪れる市民の声をグループワークで集め、さまざまな思いを会議で紹介しました。

井戸端会議の運営スタッフとして参加し、「一番強く感じたのは

「市民の声を聞けてない」ということだ。

会議の前に、日ごろ私たちが大学の授業で行っているアイスブレイクをした。それを行うことで会場の緊張をほぐす、市民が発言しやすいう環境をつくる。また古町に

の声を聞くか、どう市民と一緒に古町をつくっていくか、ここが一番重要なと学ぶことができた。

い時間を充実したものにするには、目標を持つて、いかにその与えられた自由を自分でどうコントロールするかが重要だと思います。そのときは皆さんを支え、助けてくれるのは友人であり、師であると思います。

学生が古町の活性化に一役 まちなか再生井戸端会議に参加

市民の声を聞く 重要さを学ぶ

情報文化学科4年
茅原嵩生

新潟市の市民活動支援センター

|

フエスティン ROSA

|

6日、西堀ローサで開催され、イ

ベントの一つ「市民によるまちなか再生井戸端会議」に情報文化

|

科の茅原嵩生さんと斎藤雄介さ

ん、情報システム学科の片岡憲一

さんと渡辺貴人さんが参加しまし

た。

4学生は参加者の親睦を深める

ゲームで、街と市民とのかかわり

の「気付き」で会議を有意義に進

行させました。また西堀ローサを

訪れる市民の声をグループワーク

で集め、さまざまな思いを会議で

紹介しました。

井戸端会議の運営スタッフとして

参加し、「一番強く感じたのは

「市民の声を聞けてない」という

ことだ。

会議の前に、日ごろ私たちが大

学の授業で行っているアイスブレ

イクをした。それを行うことで会

場の緊張をほぐす、市民が発言し

やすい環境をつくる。また古町に

の声を聞くか、どう市民と一緒に古町をつくっていくか、ここが一

番重要なと学ぶことができた。

会議の横で傍聴者、通行人の方の

参加型のグループワークを行つた。

アイスブレイクは、自己紹介

ゲームを通してうまく皆の緊張をほぐすことができた。ご意見番も私たちスタッフの声掛けで、たくさん書いていただいた。グループワークでは声をかけてもなかなか参加してもらえず苦労した。しかし本当に古町を良くしようと思う方々と、真剣かつ楽しく議論できた。

参加してもらえば苦労した。しか

し、本当に古町を良くしようと思う方々と、真剣かつ楽しく議論できた。

参加してもらえば苦労した。しか

し、本当に古町を良くしようと思う方々と、真剣かつ楽しく議

越智 敏夫



実のところ学部長の仕事とは何かを考えるよりも前に、このような役職に就くとき、ついつい考

えてしまうのは適格性ということである。くだけた表現をすれば「柄じゃないよなあ」ということだ。しかし

これは自意識の過剰さのゆえともいえない。考えてみれば、このよう

ときには「なんでもが?」と思うほ

うが一般的であつて、「自分は学部

長にふさわしい」と思うような者

そのように考へると大学の学部長

だけではなく、

「長」がつく職に就く地球上のすべての人がなんらかの違和感を持ちながら仕事を開始するというの

とても不思議なことだ。それに加えて、そ

れでも組織が動いているというのもいつそう不可解なことではある。

しかし、実はこの点について伝統的に問題にしてきたのが政治学である。その意味では、政治学の末席を汚す者として自分の学部長としての行動を政治学的基準から判断しなければならない。これはきつい。占い師が自分的人生を占うようなものである。

基本的に理論研究を自らに課しているつもりだったのだけれど、今年は「フィールドワークとしての学部長」という研究に邁進するしかない（当然、冗談です。本気にしないように）。

少しまじめなこ

とも書いておくと、学生が明るく勉強できるための条件を整え、また教員が教育と研究に従事しやすい環境を用意すること

が学部長の仕事だと思っている。それが簡単にできな

いことも分かってい

ている。学生の皆さんも含めて、ご協力を

乞う次第である。

自らの行動もフィールドワークとして

新任挨拶

学び、研究しやすい環境に



小山田 紀子

現代世界は「ビ
ト・モノ・カネ・
情報」が国境を超

える国際化時代に
あります。

このような地球時代に生きる若者は、国際社会に対する幅広い教養を身に付ける必要に迫られているといえます。しかし、国籍や民族を超えて、異文化を背負う人間同士が理解し合うことはそう簡単



岸野 清孝

情報システム学科長

単な話ではありません。
コミュニケーションの手段としての外国語の修得のみならず、異なる文化や社会、国家や国際関係の仕組みについて学ぶ必要があります。異文化摩擦や地域紛争の原因について考え、解決の糸口を見出

ます。

本学科の提供する授業や制度を十分に活用して、学ぶことの大切さを自覚し、自ら学ぶ姿勢を身に付けてください。

大学生生活の4年間はこれから皆さんの人生を決めた大切な時間であります。アルバイトは最小限にとどめ、また就職に直結する近視眼的なハウツーものの勉強だけに力を入れるのではなく、先生や学生同士の交流を通じて大いに学び、楽しく実りある大学生活を送られることを望みます。

い。

大学生生活の4年間はこれから皆

さん

の人生を決める

大切な時間で

あります。

アルバイトは最小限にと

どめ、また就職に直結する近

視眼的なハウツーもの勉強

だけに力を入れるのではな

く、先生や学生同士の交流を

通じて大いに学び、楽しく実

りある大学生活を送られるこ

とを望みます。

い。

留学・海外セミナー帰国報告会開く

昨年の派遣留学（情報文化学科）と海外夏期セミナー（情報システム学科）の帰国報告会が1月20日、みさき野本校の国際交流センターで開かれました。新型インフルエンザが流行の最中の留学でしたが、参加した45人全員がその影響をほとんど受けずに帰国情報、あらためて元気に報告会とパーティーに参加し同僚や教職員と一緒に貴重な体験などを語り合いました。

〈中国コース〉

貴重な体験生かそつ



情報文化学科
2年

井浦 画功

情報文化学科
2年

井浦 画功

厳しさ続く就職戦線



(写真は熱気で包まれた会場スタッフ)

厳しい就職情勢が続いている。学内を会場にした恒例の合同企業説明会が2月3、4の両日、本校体育館で開かれました。県内外から162社の人事担当者に参加していただき、例年も増して熱気ある雰囲気となりました。

参加した学生ちは、担当者の説明を聞き、メモを取ったり積極的に質問したり、真剣な表情でできる限り多くの企業のブースを回っていました。各企業とも来春の採用計画はまだ控え気味であり、厳しい就活が予測されますが、企業側も不安感を与えないと親切な対応に努め、学生たちの緊張感が和らぐ場面も見られました。

平成21年度卒業生 主な就職先一覧

アークランドサカモト(株)	(株)大谷商会
アースサポート(株)	小形商工(株)
晃(株)	力ネ美食品(株)
(株)アクセスビギン	川内自動車
(株)アクティオ	きむら食品
(株)アサヒ	共栄セキュリティサービス(株)
(株)アスティア	キヨードー北陸
(株)安中製作所	クシャ(株)
池伝(株)	グローバルホーム(株)
イワツキ(株)	合同青果
ヴィームスタジアム(株)	近藤與助工業(株)
(株)ウオロク	南洋紙店
(株)ウメザワドライ	佐渡汽船觀光(株)
越後交通(株)	サンウッドビービー
越後プロパン(株)	シアンス
(株)エヌ・シー・エス	ジェイアール新潟ビジネス
(株)INTC	JA越後中央
(株)エム・アイ・ディジャパン	JA越後ながおか
遠藤工業(株)	JAにいがた岩船
	新潟中央会
	JAI(いがた南蒲
	陸上自衛隊
	航空自衛隊
	ジエイマックソフト
	システム・アナライズ(株)
	システムリサーチ(株)
	新発田信用金庫
	芝通アドバンス(株)
	昭和電機産業(株)
	シリウスクループ
	施設工業(株)
	新発田銀行
	タクトシステムズ(株)
	タチカラ
	たしばな
	中越クリーンサービス(株)
	中越通運(株)
	中央製版
	トップ工業(株)
	富山第一銀行
	トッピング
	ハーモニック
	ハヤマ
	原信ナルホールディングスグループ
	東日本システム建設(株)
	鳥梅
	新潟運輸
	新潟クボタ
	新潟県警察
	新潟県農協電算センター
	北越銀行

(株)大光銀行	(株)北越ケーズ
(株)大庄	(株)北陸電機商会
(株)ダイナム	(株)ホテル清風苑
(株)大洋酸素	(株)ホテル泉慶
(有)大和自動車	(株)堀川
大和冷機工業(株)	(株)マルイ
高倉商事(株)	(株)マルス
(株)高助	(株)マルタケ
高野ガス(株)	(株)マンションセンター
タクトシステムズ(株)	(株)三国
(株)タチカラ	三国コカ・コーラボトリング(株)
(株)たしばな	源川医科器械(株)
中越クリーンサービス(株)	明和工業(株)
中越通運(株)	森井紙器工業(株)
(株)ハーモニック	ユニオンフーズ(株)
(株)ハーモニック	(株)よねー
(株)ハーモニック	リコータクノシステムズ(株)
(株)ハーモニック	リンクコーポレーション
(株)ハーモニック	(株)ワクシス・エンターブライズ
(株)ハーモニック	ワタナベグループ
(株)ハーモニック	和同情報システム(株)

参加無料 「家族の肖像」をテーマに3作品 「映画のなかの市民社会」 2010年度 公開講座

1999年から続いている好評の公開講座。新潟市の映画館「シネ・ウインド」で上映される映画を題材とし連続講義を行い、市民社会のあり方について分かりやすく考えます。

講演日 6/10 時間／19:00～20:30(講師未定)
課題作品「ずっとあなたを愛してる」
上映期間／5/29(土)～6/11(金)

講演日 6/17 時間／19:00～20:30(講師未定)
課題作品「家族の四季 一愛すれど遠く離れて」
上映期間／6/12(土)～6/18(金)

講演日 7/1 時間／19:00～20:30(講師未定)
課題作品「フローズン・リバー」
上映期間／6/19(土)～7/2(金)

(講師など詳細は決定次第、
本学ホームページ、月刊シネ・ウインドでご案内させていただきます)
■講演会場／新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス
■映画上映会場／新潟市民映画館「シネ・ウインド」
(セミナー申し込み)TEL、FAX、はがき、ホームページから
(FAX、はがきの場合は、〒、住所、氏名、年令、電話番号を明記)
新潟市中央区上大川前通7番町1169 新潟国際情報大学
TEL.025-227-7111 FAX025-227-7117
(協力)新潟市民映画館「シネ・ウインド」

さまざまなスキルアップに挑戦し、大学が指定した各種資格検定試験に合格した学生には奨学金を授与しています。対象となつた学生は、難度の高いI種(5万円授与)が3人、II種(社会的評価に値するもの・2万円授与)が45人で、TOEICなど語学能力検定、ファインナンシャルプランナー、情報処理関係、簿記、秘書技能検定などの資格取得者に奨学金が授与されました。

資格取得奨励奨学金 I種3人、II種45人に授与

種別	取得した資格	人数
I種	TOEIC 730点 韓国語能力試験5級	2人 1人
II種	基本情報技術者(旧2種) ITパスポート 中国語検定3級 日商簿記2級 TOEIC 600点 ロシア語能力検定試験3級 ハングル能力検定試験準2級 秘書技能検定準1級 ファインナンシャルプランナー3級	7人 15人 4人 7人 5人 4人 1人 1人 1人

金が授与されました。
取得した資格の内容は表のとおり。

本学では、大学内における禁煙化を進め禁煙講習会などを開催してきましたが、平成22年9月1日(水)からは、すべての敷地内(新潟中央キャンバスを含む)を全面禁煙としました。

これは、本学を利用するすべての人(学生、教員、学外利用者)の健康増進、受動喫煙(煙草の先から昇る副流煙を吸わされること)による健康被害の防止、および未成年者の喫煙防止を主な目的としています。

9月1日から

★平成22年8月31日(火)までの間は屋外喫煙所(2ヵ所)のみ喫煙可能となっています。ルールを守って喫煙してください。

★道路等への煙草の吸殻の投げ捨ては地域住民の迷惑になります。必ず灰皿のある場所で喫煙するようにしてください。

全キャンパス内全面禁煙!

OPEN CAMPUS 2010 高校生はじめどなたでもお申込みください! オープンキャンパス

- 学科およびカリキュラム説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- コンピュータ実習
- 語学体験
- 個別入試相談
- 就職相談
- 海外留学相談
- 学生との懇談
- 学内見学
- 保護者向けプログラム

参加お申込み 高校の進路指導の先生、もしくは右記までお申込みください。

お問い合わせ先
新潟国際情報大学 広報係

1回目 7/18(日) 2回目 8/8(日) 3回目 10/3(日)
AM 10:00～PM 4:00

新潟国際情報大学 本校

新潟市西区みずき野3-1-1
(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

※変更となる場合もありますので事前にご確認ください。

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
TEL025-239-3111 FAX025-239-3690

E-mail
soudan@nuis.ac.jp

すべて宝、生き方が変わった

情報文化学科

步美

この大学で過ごした4年間は、私にとってあまりに濃く、これまでの人生で最も充実した時間でした。たくさんの人と出会い、たくさんの経験をしましたが、その一つ一つ、すべてが私の宝であり、私の生き方を変えました。

アルバイトでは、自分は人と接することが好きなんだ！と接することに気付きました。相手を思いやること、お金を稼ぐこと、仕事とは何とか、たくさん考え方させられました。

アメリカ留学では苦しくても充実した日々を過ごし、自分の小ささや無力さを思い知り、しかし同時に私はここに生きていることを実感しました。

た。3、4年時は国際交流インストラクター活動に熱中。チームで議論を重ね時間をかけて一つのものをつくり上げ、それを現場で披露した後の達成感は、今まで味わったことのない大きな感動でした。

また、大学での講義は、その後90分に込められた知識がさまじいと感じ、一つの講義から話は無限に広がり、いつも「もっと知りたい！」と学問の面白さを気付かせてくれます。

卒業にあたって強く印象に残っているのは卒業論文と就職活動だ。私たちの就職活動はリーマン・ブレイザーズの経営破綻を合図に始まった。

百年ぶりの経済危機という新聞の見出しが飛び交う中での就職活動はどうも浮き足立つたとうに思える。しかしこの経験は左意義なものになつたと思う。通常とは違う緊迫した中で行動するというのは今後就職してから何度もある。そこで今回の経験が生かされると思うからだ。

卒業研究と就職活動の時間は誰にでも平等であるが、その中で自己アピール力

悔いなく
システム学科 渡邊 貴人

発見の連続、中国留学が転機

情報文化学科 吉井 直人

日本に帰つてからは、少し淡々と過ごしがちになつてゐた毎日が、留学を経験したことによつて、どんな出来事からでも「何かを学び取れるように」という考え方になりました。そう考えると、ありふれた毎日を大切にするようになり、何事にも積極的に取り組むようになっていきました。

これから社会に出て、大学生生活の経験は一生の財産となりました。社会に出て、新しい環境に飛び込むことは不安ですが、大学生生活で得た財産をしっかりと生かせる人間に成長します。

引き続き日露の草の根交流

情報文化学科 大野 結花

ちの交流の通訳をしたりしました。またロシア人の友人とは現在もEメールのやりとりをしていました。

ロシア留学はたった4ヶ月でした。しかし1年生のときは、それを目標にして努力する原動力になりました。また、3・4年生のときは、それの経験を生かして日露の草の根の交流に積極的に参加できることになりました。このようにロシア留学は4年間の学生生活に深く根ざしていました。卒業後もロシア語の学習を継続し、日露の草の根の交流にかかわっていくたいと思います。

充実の日々／卒業そして社会へ

4年間では去り難い樂しき

システム学科 山崎

行太

しかしこの結果を出すのは自己の力だけでは無理であったと用う。卒業研究では教授にご助力いただき、就職活動では挫けていたとき、就職活動では挫けたときに友人たちに励まされ助けられた。このような恵まれた環境であったのは幸運であるが、今後は結果を自分の力で出さなければいけない。勝つて兜の締めよ、気を引き締めて卒業していきたい。

今こうやって4年間を振り返ってみると、たくさんのことを見えて、経験てきて幸せな4年間だったことを感じます。友人にも恵まれ、恩師にも恵まれた悔いのない素晴らしい4年間でした！

国情でこれからも大学生活を送る後輩たちも悔いのない大学生活ができるようを願っています。

ありがとうございました。

厳しい就活も有意義な経験

システム学科 青柳 清佳

三 テ ム 学 科 楽 し さ
山 崎 行 太

どうになりました。

こうした経験すべてが私の力になり、糧になりました。春からの営業マンとしての半事でも、今までの経験が大いに役立つてくれるでしょう。

最後に、私と会話をし、一緒に何かに取り組み、たくさん笑い合ってくれた皆さん本当にありがとうございました。かなり短かつたと振り返っている大学生活は、忘れないでしゃう。去りがたい4年間に感謝しています。

9

学長告辞

新潟国際情報大学長
平山 征夫

「卒業式にあたり多くの前途有為な若者を地域社会に送り出せることを大学としても大きな喜びですが、本年は正直そう申し上げにくいことを誠に残念に思っております。厳しい就職状況を考慮して大学としても昨年秋には県外への就職活動の旅費を負担するなどの対応策を講じましたが、残念ながら厳しい結果となりました。

そうした状況下での卒業となりましたが、社会へ巢立つ門出にあたり、学長として皆さんに、はなむけの言葉を贈りたいと思います。それは65歳を過ぎた私自身が大切にしていることでもあります、「いつまでも青春の気概を持つていてほしい」ということです。新潟市出身の新井満さんの「青春」という本に出ている米国の社会貢献活動家、サムエル・ウルマンの「青春とは」という詩を紹介します。

青春とは 真の青春とは
若き肉体のなかにあるのではなく
本日、めでたく卒業式を迎えた皆さんに
「卒業、おめでとう」と心からのお祝いを申し上げます。ご父母の皆さまにおかれましては、本日大好きな喜びとともに卒業の日を迎えられたこととご推察申し上げます。皆さまに対しまして新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表いたしまして祝福と御礼を申し上げます。

大きな希望に胸膨らませて本学に入学して速いもので4年が過ぎました。みずき野での学生生活ではさぞかしいろいろなことがあったことと思ひます。本日卒業式に臨み、今皆さんの胸には思い出が次々と去来していることでしょう。本学でのそうした思い出は、一生青春の思い出として忘れられないものになることと思いますが、同時に大學時代の勉学、クラブ活動、友達との友情などの思い出が、自身を成長させてくれるものもあることになります。

このしつかりとした心構えがあれば、今後、時として遭遇することがあるかもしれない精神的あるいは肉体的荒波を、十分に乗り切ることができるようにして、これからは、日常の生活中で、自らの職業にも関連しつつ、見聞を広め、少しづつでも自らの知識や技能を高める努力を忘れないでください。

皆さんのこれから的人生の途中で、ある時ふと立ち止まって、過ぎし日を振り返ることがあるでしょう。そのとき、強く悔いることなく、あ良かつたとか、まあまあであったと思える人生を送りたいものです。皆さんの平素の心掛け次第で心豊かな満足できる人生を送ることができるものと信じております。

早いものですね。皆さんの入学式の日からもう4年の月日がたちました。皆さんの入学時に比べ、本日の社会人らしい面持ちを拝見し、たいへん頼もしく思っています。

新潟国際情報大学第13回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

この春、みずき野を巣立つてゆく情報文化学科101名、情報システム学科157名、合わせて258名の卒業生諸君には、近年にない経済情勢のもとで、かつての「就職氷河期」を上回る厳しい状況下での卒業となりました。これまでですと

若い精神のなかにこそある 薔薇色の頬
真っ赤な唇 しなやかな身体
そういうものは大した問題ではない
問題にすべきは 強い意思 ゆたかな想像力
もえあがる情熱
そういうものがあるかないか
こんこんと湧き出る 泉のように
あなたの精神は 今日も新鮮だらうか
いきいきしているだらうか
臆病な精神のなかに青春はない
大いなる愛のために發揮される
勇気と冒險心のなかにこそ 青春はある
臆病な二十歳がいる 既にして 老人
勇気ある六十歳がいる 青春のまつただなか
年を重ねただけで人は老いない
夢をうしなったとき はじめて老いる
歳月は皮膚にしわを刻むが 情熱を失ったとき
精神はしわだらけになる

私はいつもこの詩を傍に置き、「夢を失つてい
ないか」と自分に問いかけています。学長という役割を担っていますから、今現在の私の夢は、こ
とにほ多くの人から信頼される人間になることだと
思っています。信頼される人間になると、多くの人が集まり、いろいろな人たちの力の結集で夢が
自然に実現するからです。では信頼される人間に
なるにはどうしたらよいでしょう。もちろん誠実
で他人のことを行いやり、自分勝手でない愛情深
い人間になろうとすることが大切です。

今の経済低迷の原因であるサブプライムローンによるバブルの崩壊は、それとは逆の利益追求型の「利己心」を持って行動することに価値を置いた社会でした。それはより速い経済成長をもたらしますが、所得格差が大きいなど多くの人を幸せにするための仕組みでは必ずしもありませんでした。その仕組みが行き詰まり崩壊した現在、私たちが皆が幸せになれる社会の仕組みをつくり直さなくてはなりません。そうした社会の来ることを私は願い、またそうした社会に相応しい「他人をいたわることのできる優しい気持ちを持つた人間」に皆さんになってほしいと願っています。それが信頼される人間になるベースだからです。

しかし、それだけではまだ十分ではありません。自分の考え方で行動する自立した人間でなくてはなりません。その考え方、行動が人から評価され初めて信頼されるからです。その場合に必要な深い思考力、行動力は、大学で学んだ幅広い教養と専門分野での深い知識がベースになります。それを磨いてさらに高めてゆくためには、本学で学んだことを社会に出てからも、いっそ磨いてゆく必要があります。人生、一生学ばなければなら

学校法人 新潟平成学院理事長
武藤 輝一

理事長祝辞

頼もしい成長ぶり
さらに知識・技能を高めよう

この春、みずき野を巣立つてゆく情報文化学科101名、情報システム学科157名、合わせて258名の卒業生諸君には、近年にない経済情勢のもとで、かつての「就職氷河期」を上回る厳しい状況下での卒業となりました。これまでですと

早いものですね。皆さんの入学式の日からもう4年の月日がたちました。皆さんの入学時に比べ、本日の社会人らしい面持ちを拝見し、たいへん頼もしく思っています。

この春、みずき野を巣立つてゆく情報文化学科101名、情報システム学科157名、合わせて258名の卒業生諸君には、近年にない経済情勢のもとで、かつての「就職氷河期」を上回る厳しい状況下での卒業となりました。これまでですと

早いものですね。皆さんの入学式の日からもう4年の月日がたちました。皆さんの入学時に比べ、本日の社会人らしい面持ちを拝見し、たいへん頼もしく思っています。

ないのです。そうした積み重ねが正しい、人に信頼される思考、判断、行動をつくり上げてくれると思います。本日は大学卒業の日ですが、これらの長い人生勉強の入学の日でもあります。これが65年間の人生を送ってきた私の結論です。

社会で活動してゆくには、仕事をはじめ社会人としての行動に自己責任を負わなければなりませんし、そのためには自分で考え、判断し、それを説明し理解を得なければなりません。それは必ずしも容易なことではありません。しかも皆さん生きやすい、幸せにはなりやすい社会ではあります。

人間として本当に大切なことを守って行くためにも、今のストレスの強い競争型の社会に押しつぶされないためにも、逞しさと賢さの両方が必要です。それを支えるのは考える力に基づく問題解決力であり、強い信念に基づく精神力であり、夢を追い求める若々しい心です。こうした精神が相乗効果となって皆さん的人生を豊かなものにしてくれるでしょう。皆さんの「青春号」の船出にあたり「勇気と冒險心の中にこそ青春がある」こと

を胸に、人生に前向きにチャレンジしていくください」という祈念申し上げます。

最後にもう一つ、卒業後も本学に愛情と誇りの持つてほしいということをお願いしたいと思います。私たちも皆さんがいつまでも愛情と誇りの持てるような大学であるよう努めます。例年なく雪の多かったみずき野にもこうして春が訪れます。春は別れの時でもあり、本日をもつて皆さんとはいっただお別れですが、これからは卒業生と

して新たなお付き合いをしてゆくわけで、そのことを楽しみにしています。

もう少しするとキャンパスに皆さんのが後輩を迎えます。こうしてバトンタッチしながら、人々はつながり生きてゆくわけです。親から子へ、先輩から後輩へ、先生から生徒へ、いろいろななり、バトンタッチがこの地域を豊かにすることを願っています。社会人としてだけでなく、地域人としても貢献されることを期待しています。

皆さんのご卒業を心よりお祝い申しあげますとともに、前途幸多きことを切に願いながら、私の皆さんの門出に当たつての送別とお祝いの言葉といたします。



卒業生答辭

情報文化学科（総代）
達田 麻誠

己にしかできない役割 思つ存分に發揮したい

本日は、平山学長をはじめ、諸先生方、来賓の方々のご臨席を賜り、このような盛大な卒業式を迎えることができ、卒業生一同、心より感謝いたしております。本日、私を含め、258名が卒業することとなりました。私たちを卒業まで見守ってくださったすべての方々に、卒業生を代表して厚く御礼申し上げます。

今、私たちの胸には学生生活におけるさまざまなもの思い出や感情が溢れています。一人ひとりがそれぞれの思いを抱き、新潟国際情報大学に入学しました。初めて会う人、幅広い講義内容に対し、戸惑いや不安を抱えて始まつた学生生活でしたが、今振り返ると、本当にあつという間の4年間でした。これまでとは異なり、受け身ではなく、自ら考え学ぶ姿勢が求められ、新たに自分を成長させることができました。それと同時に、講義やゼミなどのいろいろな場面で仲間と出会い、充実した学生生活を送ることができました。

私たちのこれまでの人生と世界の歴史を照らし合させてみると、ベルリンの壁が崩壊し、米ソ冷戦の終結した世界と共に歳を重ねてきたことになります。その中でも大学での4年間は、国内外で大きな変動がありました。国内では4度にわたる政権交代、アメリカではオバマ政権が誕生しました。アジアに眼を向けると、中国が著しい成長を遂げてきました。北京オリンピックも開催され、GDPは近く日本を超えて世界第2位の地位を占めにいたると予想されています。

胸を痛める事柄も数多く起きました。今もなく、イラク、アフガンでは戦火が止む気配はありません。私たちも皆さんがいつまでも愛情と誇りの持てるような大学であるよう努めます。例年なく雪の多かったみずき野にもこうして春が訪れます。春は別れの時でもあり、本日をもつて皆さんとはいったんお別れですが、これからは卒業生として新たなお付き合いをしてゆくわけで、そのことを楽しみにしています。

もう少しするとキャンパスに皆さんのが後輩を迎えます。こうしてバトンタッチしながら、人々はつながり生きてゆくわけです。親から子へ、先輩から後輩へ、先生から生徒へ、いろいろななり、バトンタッチがこの地域を豊かにすることを願っています。社会人としてだけでなく、地域人としても貢献されることを期待しています。

このよだな時代背景、世界的な課題が存在し続

ける中、新潟国際情報大学で学んだことには、大きな意味がありました。欧米やアジアなどさまざまな国や地域について学ぶ環境が整つていて、過去、現在、また先進国、途上国と、あらゆる面から理解を深め、世界の繋がりを実感することができました。また、ゼミや卒業論文などを通じて、自分の思考を整理する力、物事をあらゆる角度から捉え、本質を見極める力、そして、伝えたいことを相手の立場に立つて表現していく術を身に付けることができました。

4月から私たちは、自ら選んだ、別々の道を歩んでいきます。大学で得たことの中には、まだ自分には見えていないものもあると思います。しかし、それは、今後、新たな生活で待ち受けているであろう困惑つら苦しむ壁にぶつかったとき、まさにそのときこそ、道標として現れてくるはずです。私たちはなんといつても、新潟国際情報大学によって繋がっています。そのことが自信と勇気になり、背中を押してくれるはずです。将来において、自分自身に求められること、自分にしか果たすことのできない役割が必ずあります。状況を悲観することなく、これまでに新潟国際情報大学で育み、形成してきた自分自身の力を、思う存分に発揮していくとい思います。そうして、私たちがこの大学で学び、得たものは、自分自身のためだけでなく、社会への貢献にも役立てていくことができるに違いありません。

最後になりましたが、私たちをこれまでご指導してくださった平山学長をはじめとする諸先生方、職員の方々、そして、今日まで温かく見守り、支えてくれた家族や友人たちに、心から感謝致します。本日ご臨席の皆さんのご健康、後輩の皆さんのご活躍、並びに、新潟国際情報大学のより一層の発展を願い、答辞とさせていただき

祝電

平成21年度

JABEE認定プログラム

13人に修了証書



平成21年度の日本技術者教育認定機構（JABEE）情報システム技術プログラムの修了証書授与式が22日、卒業式式に先立って同会場のりゅーとぴあコンサートホールで行われました。

情報システム技術プログラムを無事修了したのは13人で、学長から修了証書が授与されました。

このプログラムはJABEEが認定する教育制度で、修了生は国家資格である「技術士」の技術士第一次試験合格者と同等に扱われ、第一次試験免除の特典が与えられます。また、所定の登録を行うことによって「技術士補」の資格を取得することができます。

本学では一昨年度から情報システム学科卒の48人が既に修了証書を取得しています。

新潟市長	新潟県知事	泉田裕彦
株式会社総研システムズ	代表取締役社長	篠田敦介
日本私立大学協会 会長	相原貞則	藤川敏
株式会社新潟三越店 店長	小島和夫	大沼榮淳
株式会社又武堂 代表取締役	樋口恵一	
株式会社富山第一銀行 代表取締役	小出佐治	
株式会社ホテル清風苑 代表取締役	高橋和夫	
株式会社星光薬業 代表取締役	金岡純二	
株式会社富山第一銀行 代表取締役頭取	近藤雄治	
新潟綜合警備保障株式会社 代表取締役社長	廣田幹人	

勇気と冒険心を失わず いつまでもチャレンジを

平成21年度（第13回）卒業式が3月22日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）コンサートホールで行われ、258人（情報文化学科101人、情報システム学科157人）の卒業生が大きな希望を胸いっぱいに社会へ船出しました。

学位記授与で、卒業生一人ひとりが晴れがましく名前を呼ばれ、学位記と記念品が平山征夫学長から両学科代表に贈られました。平山学長は告辞で「本学で学んだ幅広い教養と専門分野での深い知識をさらに磨き、厳しい就職状況下ではあったが、いつまでも青春の気概と大きな夢を持ってほしい。青春号の船出にあたり、勇気と冒険心の中にこそ青春があることを胸に、人生に前向きにチャレンジしていくください」と前途を祝福しました。

これに対し、卒業生を代表して情報文化学科の達田麻誠さんが「自ら考え学び自分を成長させることができた。自信と勇気を持って社会に貢献し役立ちたいと思います」と力強く答辭を述べました。

式典は最後に校歌「空がある風がある光がある」で締めくくり、吹奏楽部の演奏で卒業生と、壇上では合唱部に平山学長ら教職員も加わって合唱し、会場の父母も一緒に温かい大きな拍手に包まれました。

恒例の祝賀会は同日夕、ANAクラウンホテル新潟で開催されました。晴れの装いで教職員を囲み握手と乾杯をしながら、笑顔でそれぞれの門出を祝い、厳しい就職戦線を戦い続ける同僚を激励し、お互いに将来の活躍を誓いました。



258人が卒立つ

平成21年度卒業式



第13回までの卒業生は合計3,799人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第 1回)	295人	116人	179人
10年度(第 2回)	290人	124人	166人
11年度(第 3回)	303人	126人	177人
12年度(第 4回)	294人	114人	180人
13年度(第 5回)	291人	118人	173人
14年度(第 6回)	277人	111人	166人
15年度(第 7回)	314人	118人	196人
16年度(第 8回)	294人	115人	179人
17年度(第 9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
合 計	3,799人	1,521人	2,278人

※9月卒業生含む

国際交流賞
情報システム学科
情報文化学科
情報文化学科
情報文化学科
白井 啓介
大野 結花
片岡 憲一
(代表)

本学での授業・課外活動を通じて
国際社会に関する知識を習得し、ラ
オスにおける学校建設のためのボラ
ンティア活動を企画・立案し実行す
るなど、国際交流活動に積極的に参
加して、本学が目指す国際交流の活
性化に貢献した。

地域交流賞
情報システム学科
岩崎 哲也
情報文化学科
赤塚の農家から依頼されホーム
ページを作成し、インターネット通
販に出店し、その後も注文処理、ギ
フト企画、メールマガジンの配信に
携わるなど、地域の交流に顕著な功
績を挙げた。

ロシア語スピーチコンテストにお
いて、最も難易度の高い「チャレン
ジの部」にて優勝した。またロシア
語能力検定試験2級（本学の資格取
得奨励奨学生金の基準第Ⅰ種に該当）
に合格した。

学術賞
情報文化学科
鴨井 勇太
情報システム学科
阿部 慎
情報文化学科
達田 麻誠

学長賞（学業成績優秀者）

平成21年度
卒業生特別表彰